

東北海区沿岸水温予報(2004年)

海域	経過 (9~11月)	現況(11月下旬~ 12月上旬)	見通し (12~2月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水試発表)	8月定線観測結果 津軽暖流域(尻屋線)の最高水温は、0m 平年並み、50m層がやや高め、100m層で かなり高め。水塊深度、津軽暖流の張り出 し位置は、平年並み。 定地水温 7~8月:はなはだ高め 9~11月:平年並み	定地水温 定地水温は平年並み。	津軽暖流域の水温は、 平年並み~やや高め 津軽暖流の東方への 張り出しは、平年並み ~やや東偏	11月の対馬暖流の流幅がはな はだ広く、水塊深度もはな だはだ広く、対馬暖流の勢 力がはなはだ強め。 7月の津軽暖流(尻屋線)の各 層水温が高めとなっていた が、水塊深度が平年並み、張り 出し位置が平年並みであっ た。	
三陸中部 (岩手県沿 岸; 岩手水七 発表)	9月 表面:黒埼沖合10海里以内と樺島沖合 10海里以内で平年並、その他の 海域ではやや低め~低め 100m深:県中部沖合40~50海里付近で平 年並のほかは、概ねやや低め 10月 表面:黒埼沖合70海里付近から樺島沖 合0~50海里付近にかけてやや 低めの他は概ね平年並 100m深:黒埼沖合0~40海里からトドヶ埼 沖合5~30海里にかけて高め、黒 埼沖合50~70海里から樺島沖合 20~30海里にかけて低め 11月 表面:黒埼沖合15~50海里、トドヶ埼 沖合20海里付近から樺島沖合10 ~40海里付近にかけてやや低め の他は概ね平年並 100m深:トドヶ埼沖合50海里付近、尾崎沖 合50海里付近、樺島沖合0~10 海里では平年並、その他の海域 では概ね低め~極めて低め	人工衛星一週間合成画像 表面:県北部沖合で平 年よりやや低め の他は、平年並 からやや高め。	県北部~県中部 平年並~やや低め 県南部 平年並~やや高め	・親潮第一分枝(表面10)の 張り出しが県北部に達して いる。 ・黒潮北上暖水(表面15)の 張り出しが県中部まで達して いる。 ・県南部沖合に暖水塊が存在 している。	
三陸南部 (宮城県沿 岸; 宮城水七 発表)	9月~10月は、表面、100m深ともに平年より やや低め~極めて低め。 11月は、表面では概ね平年並、100m深では 平年より低め傾向が継続。	<12月上旬> 表面では、南部海域を中 心に平年並~やや高めと なった。100m深では、南 部海域で平年並~やや高 めとなったが、中部海域 に7台の水が分布し、局 所的に極めて低めとなっ た。	沿岸海域はほぼ平年 並で推移するが、沖合 海域では平年よりやや 高めで推移する。	宮城県沿岸海域の水温予測モ デル(ハイブリッドモデル)使 用。1月は平年並~平年より高 め(中部海域)、2月は概ね平 年並となるが一部海域でやや 高め、と予測された。黒潮続流 峰から金華山周辺へ波及する 暖水の影響で南部海域の水温 が平年よりやや高めとなり、11 月下旬以降の田代島定地水温 (仙台湾)は、平年よりやや高 めで推移。この暖水は、今後も 断続的に波及すると考えられ る。	
常磐北部 (福島県沿 岸; 福島水試 発表)	9月:沖合にある暖水塊の一部が鷲ノ尾埼 沖100海里付近に見られた。鷲ノ尾・富岡 沖50海里付近には親潮系冷水の波及が みられ、水温は平年並みからやや低めで 低め基調が継続している。 10月:本県沖距岸30~40海里より沖では 黒潮系暖水が北上してきているが、それよ り灘側では親潮系冷水の強い南下がみら れ、水温は低め基調で推移した。 11月:沖合からの暖水波及がみられたが、 本県沖距岸50海里より灘側では親潮系冷 水の影響が残り、水温は平年よりやや低め となった。	沖合からの暖水波及が 強まり、親潮系冷水の波 及はみられない。水温 は平年並みとなった。	12月は暖水塊の影響 が残り水温は引き続 き平年並みとなるが、 それ以降は降温傾向 がみられ、平年よりや や低めとなると予想さ れる。	12月に入り沖合の暖水塊に 降温傾向がみられる。自己 帰帰モデルによると12月ま では水温は上昇傾向がみら れるが、以後は沖側を中心 に下降傾向となっている。予 測水温偏差は12月は全海 域で平年並み、それ以降は 灘側で平年並み、沖側では やや低め。	9月~11月にかけて、沖合 底引き網に暖水性のメダイ・ マトウダイが多く水揚げされ た。

<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿 岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>9月:親潮系冷水に覆われ,黒潮は,犬吠沖から大きく東に離れ,目立った暖水の波及はない.水温は,会瀬,大洗の沖合で平年より4以上低い水域はあるものの,沿岸では,平年並み. 10月:黒潮系暖水は北上し,混合水が県沿岸を覆い始める.親潮系冷水の影響は後退し,水温は概ね平年並み,強い冷水域は消失. 11月:勢力を増した北上暖水は,141°30'Eより沖側で福島沖から南下している.それを取り込んだ親潮系冷水と南からの黒潮系暖水が複雑に入り混り,水温は,表面では平年並,100m層では会瀬,大洗の親潮域で平年より2以上低い水域はあるものの,黒潮域では平年より高く,沿岸では,平年並み.</p>	<p>親潮系冷水は後退 表面には北から暖水が流入 ・黒潮 北上が強まる. ・黒潮系暖水 鹿島で小規模な暖水舌が断続的に形成 ・表面水温は平年並みだが,気温が高めで推移しているため,昨年に比べ混合層が薄い</p>	<p>黒潮の予測 ・A型流型,犬吠埼で接岸傾向,鹿島灘で北向の流路をとり,昨年8月以降と東流を繰り返す 親潮系冷水の予測 ・親潮系冷水は,12月から1月は沖よりの流路をとる.その後,1月後半から2月に南下が強まる. 沿岸水温の予測 ・1月 表面は「平年並」,中下層は「低い」～「平年並」,鹿島灘では「平年並」又は「高い」 ・2月 表面は「平年並」,中下層は「非常に低い」～「平年並」で低め傾向,鹿島灘では「平年並」又は「高い」</p>	<p>黒潮流型はA型で安定し,犬吠付近では黒潮は接岸傾向の流路をとり,昨年8月以降もこの状況は継続している.ただし,流路は不安定で,小規模な変動を繰り返している. 親潮は,北上暖水の発達のため,第一分枝の南下が沖寄りとなったため,常磐海域の水温は強烈な冷水域からは抜け出している.この傾向は親潮第一分枝の南下が強まる1月下旬～2月上旬くらいまでは継続すると考えられる. その後,親潮が南下すれば,常磐海域は冷水傾向となると考えられる.鹿島灘では,黒潮流路の変動の影響を受け,月1回程度の暖水舌が形成され</p>	<p>春,秋ともにシラスが平成に入ってから不漁</p>
--	---	---	--	---	-----------------------------

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い (7.5%)	+1.6 ~+2.3	+2.5 ~+3.9	4.0 ~+5.9	+1.6 ~+2.3	+2.5 ~+3.9	+2.5 ~+3.9
やや高い (20%)	+0.7 ~+1.5	+1.0 ~+2.4	1.5 ~+3.9	+0.7 ~+1.5	+1.0 ~+2.4	+1.0 ~+2.4
平年並 (40%)	+0.6 ~-0.6	+0.9 ~-0.9	1.4 ~-1.4	+0.6 ~-0.6	+0.9 ~-0.9	+0.9 ~-0.9
やや低い (20%)	-0.7 ~-1.5	-1.0 ~-2.4	1.5 ~-3.9	-0.7 ~-1.5	-1.0 ~-2.4	-1.0 ~-2.4
低い (7.5%)	-1.6 ~-2.3	-2.5 ~-3.9	4.0 ~-5.9	-1.6 ~-2.3	-2.5 ~-3.9	-2.5 ~-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~